



2018~2022

栃木市総合計画 《後期基本計画》

Tochigi City Master Plan





‘自然’ ‘歴史’ ‘文化’が息づき ‘みんな’ が 笑顔のあったか栃木市

本市は、平成26年4月の旧岩舟町との合併により、当初の目標でもありました1市5町の合併が完了し、新しい栃木市となり新たなまちづくりが始まりました。

近年の地方自治体を取り巻く環境は、人口減少や高齢化、過疎化に加え、いつ起こるかもしれない自然災害への対応、また、長きにわたる東京圏への一極集中からの脱却など、多くの課題があり、地方自治体は、それらの課題に対する積極的な取り組みが期待されています。

また、市民生活の最も身近な基礎自治体として、地域の課題に向き合い、迅速かつ的確な行政サービスを提供するとともに、50年・100年先も見据えた上で、持続的な行政運営に取り組まなければなりません。

こうしたなか、本市では、将来の人口ビジョンを示し、人口減少に歯止めをかける取り組みのほか、若い世代が結婚・出産・子育ての希望を持てるようにするため、「栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。

この度、策定いたしました「総合計画後期基本計画」は、前期基本計画の検証結果を踏まえた対応のほか、この「栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合性を確保し、新たな雇用の創出や定住環境の充実、子育て世代の環境づくり、栃木市の知名度アップや危機管理体制の構築など、将来に希望が持てる栃木市を創っていくための新たなビジョンであります。

その新たなビジョンに掲げる後期基本計画の目指す姿を実現するためには、様々な機会に市民の皆様に参加いただき、共に創り上げる「協働」が必要であります。

そして、市民の皆様と創り上げる「栃木市」が「住んでよかった」「来てよかった」と本市に関わるすべての人たちに言ってもらえる「市」を目指していく所存でありますので、より一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、本計画の策定にあたり熱心にご議論いただきました栃木市総合計画後期基本計画策定懇談会の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました市民の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

平成30年3月

栃木市長 鈴木俊美